

この問題を解決するために、
どんな取り組みが
おこなわれて
いるのでしょうか。

ユニセフ(国連児童基金)は、世界各地の農村部や難民キャンプなどにトイレを設置。
また、女の子が学校に通い続けられるように、学校内に女子トイレをつくっています。



日本のトイレはとてもきれいで、プライバシーが守られています。しかし、世界のトイレを見てみるとビックリすることがいっぱいあります。一緒に考えてみましょう。

学校にトイレがないことが、子どもたちの教育の機会を奪っています。
思春期の女子学生は、外でトイレをする姿を見られたくないと学校を休み、そのまま退学するケースもあります。



下痢とその合併症で死亡する5歳未満の子どもは1日約1,400人もいます。

石鹸で手を洗うだけでも40%のリスクを減らせるので、指摘があります。



そのうち屋外で排泄している人が約4億9400万人います。

世界には安全できれいなトイレを利用できない人が約36億人います。



悪臭や病原菌を運ぶハエなどに悩まされたり、一人でゆっくりトイレができない人がたくさんいます。

家や近所にトイレがなく、いつも道端や草むらなどでトイレをしています。女性が夜や人気のないところでトイレをするときに身の危険があります。

「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020」



出典：UNICEF/WHO

暮らしを変えた簡易式トイレ

日本のLIXILという会社は、ユニセフと一緒に開発途上国に簡易式トイレをおくる活動をしています。流す水が少なく、設置も簡単なこのトイレは、開発途上国のたくさんの人々の暮らしを助けています。



家や学校に、安全で衛生的に管理されたトイレがあることは、その国が豊かである証拠です。下痢や感染症などに悩まされず、子どもたちは安心して学校で勉強することができます。トイレは、豊かな国づくりにもつながっているんですね。SDGsでは、2030年までにすべての人が安全で管理されたトイレを使える社会を目指しています。

なぜ外でトイレをする国があるのか？

- トイレを設置するお金がない
- 宗教上の理由で、排泄は汚いものだから家の外で行うべきと考える
- そもそもトイレが必要だと思っていない

世界の人たちはどんなトイレを使っているのかな？

- トイレトパーパーを使う人は、世界の半分以上
- トイレトパーパーは流さず、ゴミ箱に捨てる国がたくさんある
- インドのトイレには水道の蛇口がついていて、置いてあるバケツや桶に水をためてお尻を洗う
- アメリカやヨーロッパでは犯罪防止のため、個室トイレのドアの下に大きな隙間が開いている
- 東南アジアのイスラム教の国では、トイレにお尻を洗うためのハンドシャワーがついている



神奈川県立地球市民かながわプラザ
あーすぶらざ
このかべ新聞はあーすぶらざのあーすぶらざホームページからもダウンロードできます。

君のSDGs探してみよう！